



私たちは 水を生かし
緑を広げ 安全に努め
心を育て 助け合います

(ホームページURL)

http://www.city.ogakig.jp/

立春に笑顔咲かせる子どもたち



水都っ子集まれ!新春正月まつり

～家族でふれあう・子育てを考える 多彩な催し～

「子育て日本一」を目指す大垣市——。市内では、先月下旬から今月初旬にかけて、家族でふれあう・子育てを考える催しが数多く開かれました。

1月25日は、杭瀬川スポーツ公園で「水都っ子集まれ!新春正月まつり」と、スイトピアセンターを舞台に「スイトピア子どもまつり」が開催されました。どちらの会場も、子どもたちの笑顔が輝き、おじいちゃんやおばあちゃんと一緒に参加し、3世代でまつりを楽しむ姿が数多く見受けられました。

2月1日には、子どもたちが日ごろの生活で感じたことや感動体験などを発表する「子どもの意見を聞く会」が総合福祉会館で開かれ、翌2日には、親子で絵本の楽しさを学ぶ「子ども読書フェスティバル」がスイトピアセンターで行われました。

また、情報工房では1月28日に「児童虐待防止講演会」、ソフトピアジャパンでは2月1日に「子



児童虐待防止講演会

育て世代に選ばれる都市戦略会議シンポジウム」が開かれ、虐待が子どもたちに与える影響や、子育てしやすい都市環境の整備について、多くの人たちが学び・考えました。

市は、こうした催しのほか、保育料の軽減や高校生世代までの医療費助成など、さまざまな形で子育て世帯のバックアップに努めています。

第30回 大垣市 明るい青少年都市市民会議大会

3月2日(日) 13:30~16:00 スイトピアセンター音楽堂

大垣市では、家庭・地域・学校が一体となって「明るい青少年都市市民会議」を組織し、子どもの健全育成や社会環境浄化の推進に取り組んでいます。

3月2日(日)には、スイトピアセンターで、各校区の青少年育成推進員さんやPTA、自治会、婦人会、学校関係者らが集い、第30回大会が開かれます。次世代を担う子どもたちに明るい未来をつなぐため、皆さんの参加をお待ちしています。詳しくは、社会教育スポーツ課(内線756)へ。



大会プログラム

- ①青少年および青少年育成者(団体)の表彰
- ②小・中学生の体験発表
- ③多良校区青少年育成推進会の実践発表と上石津もんでこ太鼓の実演
- ④岐阜経済大学駅伝部監督の揖斐祐治さんによる「陸上競技・駅伝を通しての人間形成」と題した講演

国名勝指定記念事業を展開



市長の
おおがきけん

大垣市長 小川 敏

大垣を代表する歴史文化遺産「船町港跡」が、国名勝「おくのほそ道の風景地 大垣船町川湊」として指定を受けることになりました。これまで、国史跡としては「美濃国分寺跡」や「昼飯大塚古墳」が指定されましたが、国名勝の指定は市内初で、県内でも26年ぶり6件目の指定となり、私もうれしく思っています。

今回、「おくのほそ道の風景地」として、新しく国名勝に指定されるのは、12市町13か所で、草加市の草加松原や岩沼市の武隈の松、高岡市の有磯海、小松市の那谷寺境内などがあります。これらは、芭蕉翁が訪れた往時をしのぶ場所として、景観上の価値が高いと評価されたものです。

そこで、この指定を契機に、12市町が連携を深め、風景地の魅力を全国に向け積極的にPRできるように考えています。5月には「記念事業」を展開し、さまざまな事業を実施していきたく考えています。5月には12市町で「おくのほそ道の風景地ネットワーク」を立ち上げ、設立総会と記念シンポジウムを開催します。また、奥の細道むすびの地記念館や大垣駅通りの空き店舗を活用して、各地を紹介する写真パネル展を開くほか、観光交流物産展や風景地全13か所を皆さんに巡っていただくスタンプラリーなども実施します。

私は、この事業を通して、名勝に指定された12市町が絆を深め、たがいに観光や特産品などのPRを行い、風景地全体の活性化につなげていきたいと考えています。



おくのほそ道の風景地 大垣船町川湊